

石クリ通信

10月号

書いてよかった☆

事務 森 絵里子

前回、見る角度によって美人が美人でなくなる。という記事を書かせて頂きましたが、こんな短い(ちよっと手を抜きすぎ)てしまったと反省していた)記事に対して皆さんの患者様から「面白い」という言葉を頂き、とても嬉しく思っています。そんな中で、ある患者様から「何事も見る角度によって違う人間もそうだね。」という言葉を頂きました。本当にその通りだなと思えました。目に見えない物にこそ角度を変えて見たり考えたりできるようにしたいなと思えました。勉強になるなあ。患者様との会話は大切にしていきたいですね☆

私の大好きなマヨネーズ!

看護師 高山 早苗

私は小さい頃からマカロニサラダが、というよりマヨネーズが大好きでゆでた野菜にかけたり、熱いご飯にびゅーっとかけて食べ、必ずお腹が痛くなり、母に叱られたりしました。ところでマヨネーズの語源はいくつも存在しますが、18世紀中頃ミノルカ島の海戦の際に指揮をとっていたフランスの肉料理屋リユール公が、卵と油とレモン果汁を使ったソースをかかけたリユール公が、そのソースをパリに伝えたとか。日本では大正14年キューピーが発売したキューピーマヨネーズが国産マヨネーズの元祖とされています。当初は関東大震災の復興後における生活の洋風化の中で発売したものの、馴染みのなさや、価格の高さから売れ行きは芳しくなく、ポマードと間違えられることもあったそうです。人の味覚や食生活は時代とともに変化し、使い方もかけるだけでなく、卵焼きに入れてふわっと仕上げたり、炒め物に使ったりと今や家庭の冷蔵庫に1本は入っている時代ですね。ちなみに世界一マヨネーズを消費しているのはロシアだそうですよ。

秋味

事務 久保 直子

秋限定醸造のビールが発売されました☆ スーパーや酒屋には赤やオレンジなど、秋色を使用した缶ビールが並び、それを見ると「ああ、秋だなあ」と実感します。今年「第3のビール」からまた限定品が出ており、早速買って飲み比べてみました。だが、ブラウンエール(こげ茶色っぽいビール)に近い味で、美味しかったです☆ 旬の食材と合うよう、ちよっと濃い目で深い味わいとコクのある秋ビール♪今だけの味を楽しみたいと思います。



ホラーゲームの怖さ

薬剤師 石川 恵

涼しくなつて参りましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は言わずもがな台風や豪雨で塩ナメクジ状態。一日23時間寝ている有様です。ナメクジノカ。と言ったら友人に「ナメクジモノの方がまだ燃費がいいわ」と突っ込まれました。

しかしまだ続くホラーネタ。実は私は自他共に認める怪談&ゲーム好きですが、ホラー系と呼ばれるゲームはほぼやりません。何故か。怖いから(笑)ちなみにゾンビが方々から襲ってくる有名な「バイオハザード」。あれはホラーではなくアクション系と言うジャンルに入ります。何が違うかという点、簡単に言えば「プレイヤーの力量」です。ホラー系の主人公は基本非力で丸腰。スタートするといきなり銃を持った警官が高笑いしながら追ってくる。「100m先の車に逃げ込め!」いやいや無理むりむり! 要はひたすら逃げ続けるテクニクが必要となるわけです。心臓に悪すぎです。「ホラー映画だつて逃げまくってるじゃないか」と思いますか? あれば自分の行動で結果がどうなるわけではないからいいんです(笑)

花火に続き...

看護師 澤田 彰子

先月の花火に続き私の大好きなもの。それは果物です。特に何が好きというより果物全てが大好き。今年も猛暑のおかげで桃や梨、葡萄が最高に甘く満足しています。特に巨峰にハマつていて種無しで皮ごと食べても渋みもなく、あつという間に一房へロリです。これから秋冬とおいしい果物が出揃うのでまたまた楽しみです。

介護民俗学

事務長 石川 都

最近関心があるのは、六車由美の提唱する介護民俗学という新分野である。六車由美は、人身御供などの研究テーマで賞も受けた新進気鋭の民俗学者であったが、ある時大学教師の職を辞し、老人ホームで働きつつ、お年寄りたちの語りに耳を傾けて記録し始める。彼女によると、超高齢者の多い施設は、今や時代や地域の語り部たちとの豊かな出会いに満ちた、まさに民俗学の宝庫であるという。従来型の地域調査ではなかなか出会えない高年齢の歴史の生き証人たちが施設にはたくさんおり、重度認知症の人でも(耳を傾ける者さえいれば)若い頃の社会状況や暮らしの中の喜びや悲しみを、実に生き生きと語り出すと言う。同じことを繰り返すのも、その人にとっては、何度でもそこに立ち帰らねばならない本人なりの理由があるのだと、六車は根気よく聴き、探り続ける。六車にとつて高齢者施設こそはまさに現代の埋もれた「豊かな語り」であり、その聴き書きという手法は、今後の民俗学の新たな方向性を指し示しているとも言える。

頑張つてね

看護助手

柴田 さち子

9月16日に日帰りバスツアーで群馬県に行ってきました。添乗員さんのお話で、先日の集中豪雨でコスモス畑のコスモスが全部倒れてしまったと聞きました。鼻高展望花の丘に行きました。倒れていたコスモスの花が全部立ち上がっていました。今回災害に遭われた被災地の皆さまには言葉をかけてほしいかできませんが、頑張ってください。



早めのパ○○○

院長 石川 悟

有名な(そして美しい)女優さんが、風邪で苦しうにしているコマシヤル。薬を飲んだ後、すつかりよくなって、子供が「早めのパ○○○でよかったね」というだけのものですが、このCMでは「風邪をひいても、早めに風邪薬を服用すると、早く治癒する」という無言のメッセージが含まれています。

当クリニクでも、風邪をひいたから薬を出してくれと訪れる患者さんは少なくありません。風邪のウイルスに効果のある薬は今のところありませんので、薬飲まないと安静に、と言つても、なかなかかわかつてもらえませんが、その症状をどう(対症療法)薬は有効なことがあるんですが、早めに薬を飲んでおけば、重症化しないという事は全くないのです。薬で症状が軽くなったので無理をして、さらに重症化するリスクもあります。前立腺肥大症の患者さんでは、風邪薬で尿が出にくくなり、ひどい時は尿閉になります。咳止めや鼻水を止める薬は副作用があるからです。

時に風邪と同じような症状でも、別な病気のこともあります。放置するのではなく、安静にしながら、経過を慎重に見て、通常より明らかに長引く場合は、精査をした方がいいでしょう(うちのクリニクでなくてもOK)。

夫婦の関係

通信・ウェブ担当

石川 香

同年代でも新しい家庭を築いている友人が多くなりました。先日話題になったのは、夫婦喧嘩をするかどうか。意外にもパターンは「全くしない」か「毎日が戦い」のどちらか。「時々」というのは少ないようでした。ちなみに私達は、もちろん毎日パターンですが、というより日常の出来事すぎて、言い合いになつてもお互いあまり喧嘩とは認識しておりません。(笑) 夫婦の関係は色々です。皆様のご家庭はどうですか。